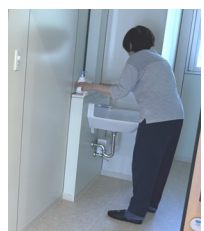


稲成公民館 夏の大掃除を行いました

8月3日(日)、各種団体の役員や、サークル等の有志の方々により、稲成公民館の夏の大掃除を行いました。

併せて、災害時に使用する機器や消防設備の点検、周辺の草刈り等も行いました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



動鳴気峡整備作業を行いました(稲成町内会)

8月3日(日)、稲成町内会の役員など地域の皆さんにご協力いただき、動鳴気峡の整備作業を行いました。

当日は猛暑の中での作業となりましたが、熱中症対策をしながら生い茂った草を刈り、遊歩道を散策しやすく整備しました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



稲成公民館だより

令和7年9月号

未来へつなぐ道
田辺市

【発行】稲成公民館
【館長】倉谷 修治 【主事】小倉 拓
【事務所】田辺市東山一丁目5番1号(本庁舎5階)
【TEL】26-4908 【FAX】24-8323
【館区の人口と世帯数】(令和7年7月末現在)
3,179人(男1,517人・女1,662人) 1,551世帯

願わくば、はみ出すほどの赤マルを！永久に。 稲成公民館長 倉谷 修治

「体温をこえる暑さとなっております。」「熱中症警戒アラートが発令されております。」など連日連夜、連呼されていた8月。9月に入っても予断の許さない暑さが続いておりますが稲成の田では先月末ごろより稲刈りが行われております。コメ不足を懸念されている中で今年の実りはいかがなものでしょうか？豊作だと良いのですが。

さて、終戦80年目の今年、8月6日の広島、9日の長崎、15日の終戦の日にと祈念式典で石破茂首相がご挨拶されました。追悼の辞の中で私が特に印象に残ったのは「太き骨は先生ならむ そのそばに小さきあたまの骨 あつまれり」と、広島で公園前の緑地帯にある「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」に刻まれた歌人・正田篠枝さんの歌を2度繰り返し詠まれたことです。戦争を知らない私ですが、それを聞いて、その光景を思い描くことができました。また某新聞で「戦禍をいきて 翻弄された子供たち」と題して学童疎開の子ども達の様子を掲載しており、その記事を目にしたとき、ふと中学校2年生の教科書にあった向田邦子さんの随筆「字のないはがき」を思い出しました。「元気な日にはマルを書いて、毎日1枚ずつポストに入れなさい。」おびたしい葉書にきちょうめんな筆で自分宛の宛名を書いて、学童疎開する末娘のリュックサックにいれる父。一週間ほどで、紙いっぱいのはみ出すほどの赤鉛筆の大マルの葉書が届くが、次の日からマルは急激に小さくなり、情けない黒鉛筆の小マルは、ついにバツに変わった…。終戦の日のある8月は、どうして?なぜ?と、いろんな意味で考えさせられます。中学生の保護者の皆様、興味がおありでしたら是非、一度読んでみてください。

話は変わって、先月16日稲成小学校にて「稲成・むつみ夏祭り」が開催され、わずか2時間ほどでしたが楽しいひと時を過ごすことができました。準備から片付けにと多くのスタッフに支えられ、昨年にも増して大盛況に終えることができましたこと紙面をお借りし感謝申し上げます。

また今月7日には7年ぶりとなるソフトボール大会、15日敬老会とイベントが続きます。どちらも大勢の方にご参加いただき場を盛り上げていただきたいと思います。

皆さま方のご協力よろしくお願いいたします。

「稲成・むつみ夏祭り」を開催しました！

8月16日(土)、稲成小学校グラウンドにて「2025 稲成・むつみ夏祭り」を開催しました。当日は昼過ぎに一時雨の予報もあり天候が心配されましたが、最後まで雨に降られることもなく、大勢の来場者で賑わい、昨年度を上回る大盛況となりました。

会場には地域の方々によるカキ氷・アイスクリーム・焼き鳥・ちゃんぽん・スーパーボールすくいなどの出店が並び、「100万円ぴったりにゲーム」では、模擬紙幣を100万円だと思う分だけ掴み、計数機でぴったりかどうかを数えるという珍しい体験ができ、人気を集めていました。

そして、毎年恒例のお菓子まきではたくさんのお菓子やカップ麺がまかれ、メインイベントである盆踊りでは伝統の盆踊り曲だけでなく流行りの曲などでも踊る新しいスタイルで盛り上がりました。

ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

